

第3回 伊方町レクバレー交流大会



選手宣誓（「サリーチーム」山田まゆみさん・山田奈奈さん）

生涯学習だより

ふれあい

いかた

毎月第2日曜日は「家庭の日」です。

3月のテーマ“努力をたたえ合おう”

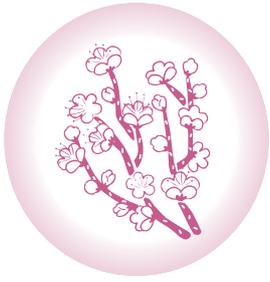
（実践方法）

- 入学、進学、就職を家族そろって明るい希望を持たせよう。
- 就職する子供と、職場における心がまえについて話し合おう。

平成21年
3月1日発行

No.47

3月号



傳宗寺住職 多田曹溪先生の講演



61年齢のみなさん



33・42年齢のみなさん

厄年といわれる33・42年齢の成人、並びに還暦の61年齢の方々が、伊方町生涯学習センターに一堂に集い、平成21年成人講座が2月8日(日)に開催されました。

開会行事の後、講演会では三崎の傳宗寺住職 多田曹溪先生から「どう活かす、わたしのいのち」と題して講演がありました。その後、懇親会が開かれ、久々の友との再会に話はずんでいました。人生の大きな節目といわれる「厄年」を迎えられ、参加された皆さんは、改めて人生を振り返ると共に「更なる誓いを立てられたこと」でしょう。今後、なお一層のご健勝とご活躍をお祈りいたします。

平成21年 成人講座開催 一堂に集い人生の節目を祝う

第3回 伊方町レクバレー交流大会開催

1月25日(日)、伊方町スポーツセンター及び伊方中学校体育館を会場にレクバレー交流大会が開催されました。

この大会は、スポーツを通じ町民間交流を行い親睦を深めることを目的に開催されております。

参加者は、男子の部4チーム、女子の部3チーム、混合の部20チームの総勢約300名が参加しました。各チームの構成は、町内の地域チームや、職場チーム・気の合う仲間同士等で集められており、ユニークなチーム名での参加も数多くありました。

試合では、ボールを懸命に追いかけ、熱戦の中にも笑顔があふれ、また審判を他のチームと協力して行うなど積極的に交流ができていました。



試合風景

なお、今大会での上位入賞チームは次のとおりです。

- 男子の部
 - 優勝 P-フラッシュ
 - 準優勝 レインボーマン
 - 3位 ノープラン
- 女子の部
 - 優勝 ミックス☆F
 - 準優勝 VIVA
 - 3位 キャッツ・アイ
- 混合の部
 - 優勝 なでしこ
 - 準優勝 MLO
 - 3位 サリー



男子の部優勝



女子の部優勝



混合の部優勝



第38回 伊方駅伝大会開催

春の訪れを告げる恒例の伊方駅伝大会が2月15日(日)に開催されました。

今年で38回を数えるこの大会は、田之浦集会所前をスタートして、大浜臨港道口を折り返し、伊方中学校グラウンドをゴールとする

18、94kmを競い合います。

午前9時30分、松田教育委員長の号砲で、25チームの選手が熱い声援の中一斉にスタートし、一本のタスキに願いを込め、各チームの選手一人一人が精一杯健脚を競い合いました。天候にも恵まれ、

沿道には選手達を応援しようと、大勢の方が集まりの温かい声援を送っていました。

今年度も、1部ではオーブン参加3チーム(大久スポーツ少年団チーム・豊小チャレンジャーズチーム・伊方サービスRチーム)や2部男子では、小学校での参加(九町ドラゴンズ)があり、大会を盛り上げていただきました。



5年連続1部優勝の湊浦チーム



選手宣誓



2部男子優勝の伊方中野球部チーム



一斉にスタート



2部女子優勝の伊方中バレー部チーム



皆の思いを抱いてゴール



タスキを繋いで

部	順位	チーム名	記録
1部	第1位	湊 浦	1時間07分07秒
	第2位	大 浜	1時間07分54秒
	第3位	仁 田 之 浜	1時間15分45秒
2部男子	第1位	伊方中野球部	1時間10分47秒
	第2位	伊方サービス	1時間10分54秒
	第3位	伊方レッズ	1時間11分40秒
2部女子	第1位	伊方中バレー部	1時間23分42秒
	第2位	伊方中バスケット部	1時間26分08秒
	第3位	伊方中卓球部A	1時間30分58秒



60年目の誓い!

文化財防火訓練行なわれる

1月26日は、「第55回文化財防火デー」でした。ちょうど60年前、昭和24年(1949)のこの日、世界最古の木造建築である奈良県の法隆寺金堂が炎上し、壁画が消失したことを契機に、同29年からこの日が制定され、毎年全国各地で防火訓練が行なわれています。

本町でも三机「須賀の森」(県指定天然記念物)の八幡神社境内で防火訓練が行なわれました。地元の子・消防団員の皆さんのご協力で、速やかな訓練を行なったあと、消火器・消火栓の仕組みや使い方の講習がありました。かけがえのない佐田岬半島の文化財、これからもしっかりと守っていきたいものです。



公民館だより

平成21年度『陶芸教室』

受講生募集のお知らせ

中央公民館

中央公民館では毎年陶芸教室を行っており、受講生の皆さんにはお茶碗やお皿、干支などの置物を楽しく作成して頂いております。一生涯続けてできる趣味の1つとして、『陶芸』という文化を気軽に触れてみませんか。

◆開設場所

伊方町地域振興センター
4階 民芸品試作実習室

◆期 間

4月～3月までの
第2・4日曜日(原則)

◆講 師

1日/1ヶ月

◆時 間

Aコース 10時～12時
Bコース 13時～15時



◆会 費

1ヶ月500円

前期(4～9月)と後期(10～3月)の
2回に分けて徴収、材料代は実費

◆募集人員

各コース20名 合計40名

◆申込方法

電話にて住所・氏名・性別・連絡先
等をお知らせください。

◆申 込 先

伊方町中央公民館
TEL 0894-38-1020

◆申込期限

平成21年3月19日(木)

◆その他

詳細につきましては、中央公民館までお問い合わせください。



「二見公民館まつり開催!!」 (第25回 二見地区ふるさとまつり)

町見公民館

今年で25回目を迎える二見公民館まつりが2月1日(日)、二見小学校体育館を主会場に開催されました。この公民館まつりは、地域に密着した文化活動の展開および振興を図ることを目的として、二見小学校学芸会と並行して毎年2月の第一日曜日に実施しております。

作品展示コーナーでは保育所園児の紙で作った雪だるま、お絵かき、小・中学生の書道、絵画、各団体の手芸、生け花、寄せ植え、短歌、絵手紙等、たくさんの作品が体育館半分のスペースいっぱい並び、作品の出来栄に感心するお客さんもたくさんおられました。

また、八幡浜漁協町見支所女性部の新鮮なイワシ等の海産物即売、亀ヶ池生活研究協議会のおいしいバラ寿司等のふるさとの味即売、田中浦婦人会による温かいお好み焼きバザーもあり大変好評でした。

午後からの「芸能発表のつどい」では16曲の舞踊・歌謡が披露され、出演されたみなさんは日ごろの練習の成果を存分に発揮され、会場は大いに盛り上がりました。最後はもちまきで、和やかな雰囲気の中、まつりはお開きとなりました。出展、即売、出演および協力してくださったみなさん、お疲れ様でした。ありがとうございました。



紙で作った雪だるま(加周保育所)



前日の生け花教室(加周婦人会)



もちまき風景

雪山スキー教室

瀬戸公民館

2月7日(土)瀬戸地域の小学4～6年生17名の参加のもと、小田スキー場にて、毎年恒例となっている雪山スキー教室を開催しました。

このスキー教室は、毎年寒さを覚悟して行っていました。今年も天候にも恵まれ、スキーを行うには絶好のコンディションとなりました。

スキー場に到着すると、早速、教室を開始。子ども達は、初心者と経験者の2班に分れて、それぞれインストラクターの方の指導のもと、別々のメニューで教室を進めていきました。

午前中、初心者組はグレンデの下の平らに近い場所基礎をしっかりと教わり、経験者組は少し練習をした後すぐにリフトに乗ってグレンデを滑っていました。初心者組もインストラクターの丁寧な指導もあって午前中の最後の方には、少しずつ滑れるようになりました。

風食を挟んで、午後からは、初心者組も急願のリフトに乗って



て、経験者組と同様、どんだんグレンデを滑っていきました。本当に子ども達のスキーの上達具合には目を見張るばかりで、初心者の子どもの帰る頃にはほとんど転ぶことなく、スイスイと楽しそうに何回もリフトに乗ってはグレンデを滑っていました。

普段、体験することの出来ない冬山でのスキーとあって、子ども達の表情も自然と笑顔となっていました。この教室をおして、子ども達は十分にスキーを満喫したかと思えます。また、スキー技術の向上はもとより、学校、学年を超えた友好の輪も広がったのではないかと思います。

一月の行事報告

三崎公民館

健康マラソン&ウォーキング大会

1月3日、新春恒例の健康マラソン&ウォーキング大会を開催しました。116人の参加者が、10km、6km、3kmのマラソンコースと6kmのウォーキングコースで新春の走り(歩き)初めを行いました。

書き初め大会

1月6日、三崎公民館で小学生を対象に書き初め大会を行いました。36人の参加者らは、地元の五島義長先生の指導で心静かに書き初めを行いました。

生活学校

1月9日、三崎公民館で40歳代以下の女性を対象とした生活学校を開催し巻き寿司といなり作りに挑戦しました。巻き寿司は初めて作る方が多く、悪戦苦闘しながらも「えいっ」と勢いで巻いていました。

第41回三崎駅伝大会

1月18日、三崎地域の伝統行事、駅伝大会を開催しました。36チーム、223人の選手が、沿道の温かい声援を追い風に、想いのこもったタスキを佐田岬小学校から三崎総合体育館まで繋ぎました。

人権ふれあい広場

1月20日、串地区の高齢者の方を対象に、人権ふれあい教室を行いました。

ました。カードゲームやビデオ視聴をしながら、男女間の人権問題や部落差別について考えました。この教室はすでに4回目の開催となりますが、どの地域でも、部落差別はまだあるのという参加者の感覚の中で、結婚問題は別、寝た子を起こすなという考え方にも賛成の方が多くいました。あらためてこの問題の根深さや難しさを実感しました。



書き初め大会



健康マラソン&ウォーキング大会



第41回三崎駅伝大会



生活学校



学校通信



最後の学芸会

塩成小学校

感動的な音楽会が終わり、さして日もたたない12月7日に学芸会を開催いたしました。地区民に呼びかけて子どもたちの活躍を大々的に見てもらうのはこれが最後の機会です。そのため、例年以上に教職員も子どもたちも、熱気に包まれていました。そして保護者も、みんなで学芸会を盛り上げようと、わざわざ保内から道休元校長先生をお迎えし、熱い演技指導を受けました。本番では観客からアンコールがかかるほど好評でした。

そして、メインの子どもたちは、郡内一だと自負できるほど大きな声で演技し、特に1・2年生の劇は、観劇料を頂いてもおかしくないほどの名演技でした。3・4年生は、保護者や学校長も出演を依頼され、文字通りの地域を巻き込んで劇を作り上げていきました。5年生は、楽しいセリフを随所に織り交ぜながら、舞台装置にも工夫をこらしていました。6年生の人権劇は、観客からすすり泣く声が漏れるほどでした。そして、最

後の「6年生のあいさつ」に流れた「ふるさと」の歌は、みんなで一緒に歌うように演出していましたが、大勢の人が途中から歌うことができなくなっていました。こうして、最後の学芸会は幕を閉じました。多くの来賓や地区の皆様、過去6年間に本校に勤めてくださった先生方の前で行ったこの学芸会が、皆様の胸に深く刻まれていただけたのであれば幸いです。本当にありがとうございます。



「もうすぐ新校舎完成」

三崎小学校

月日が経つのは早いもので、校舎改築のために二名津の校舎で今年度をスタートしてから、もう10ヶ月が過ぎようとしています。

4月当初は、初めて経験するスクールバスでの通学や慣れない環境での教育活動等で、子ども達も先生方も戸惑うことが多くありましたが、今ではすっかり慣れて、充実した学校生活を送っています。二名津小学校とも大変近くなり、各学年ごとに交流学习を実施したり、放課後のバスケット練習やサツ

カー練習をいっしょにしたりするなど、今年度は例年にもまして二名津小学校との交流を図ることができました。そうした中で、新校舎の工事が着々と進み、もうすぐ完成する予定です。

3月になってから引っ越しを行います。引っ越しの作業は大変ですが、新校舎に入ることを思えば、今からわくわくしてきます。新校舎が完成したら、ぜひ見学に来てください。

私たちの手で、みんなの力で

水ヶ浦小学校

「朝起きるのが寒かったです」「手がとても冷たいです」「1月10日、寒風ついて小雪の舞った薄暗い中、分団奉仕活動を開催。水ヶ浦小学校では自分たちが住んでいる地域を自分たちの手できれいにしよう」と、地域と家庭と学校の三者が一体となって、年間通し、毎月第2土曜日を「分団奉仕活動日」として、朝8時より保護者と児童と教員が自主的に10年くらい前から実施している。中之浜分団では海岸公園、神社

拾いを行った。急いできたのかしじ袋を手し、手袋もはめず海岸に集合した児童や、後からウインドブレーカーを母親が届ける場面もあったが、今日のめあてを確認すると参加者全員元気に活動開始。雑草の中のゴミを発見し持参した袋に回収した。作業は短時間で終了したが、息も凍るのではないかと思われるほどの厳しい寒さに耐えながら、自分たちの手を動かし、心を通わせる地域美化活動を実施した。

大カーブ。大浜分団では老人憩いの家周辺、海岸駐車場、神社公園などを中心に登校班ごとに集まり、ゴミ拾いや草引きをしている。この日、中之浜分団では海岸公園のゴミ

『効果10倍の「教える」技術』（吉田新一郎著）に、「聞いたことは忘れる」「見たことは覚える」「やったことはわかる」（老子）という記述があります。作業を通して協力



し合ったり、達成の喜びを味わい合ったりすることによって大切さを学び、将来はきつと期待に答え、見事な成長の花をさかさせてくれるものと思います。



図書館だより



今月の新刊

○子ども向け

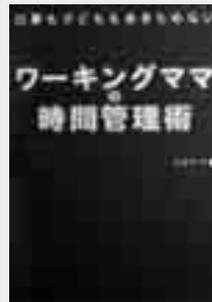
- ランドセルがやってきた / 中川ひろたか 文、村上康成 絵
- くもりガラスのむこうには / あまんきみこ 作、黒井 健 絵
- きずついたつばさをなおすには / ポブ・グラハム さく、まつかわまゆみ やく
- うしはどこでも「モー！」 / エレン・スラスキー・ウィンステイーン 作、ケネス・アンダーソン 絵、桂かい枝 訳
- かりんちゃん和十五人のおひなさま / なかがわちひろ 作
- 怪談レストランナビ霊 / 松谷みよ子 責任編集、たかいよしかず、かとうみこ 絵
- 殺人者の涙 / アン＝ロール・ポンドウ 著、伏見 操 訳
- 気まぐれ少女と家出イヌ / ダニエル・ペナック 著、中井珠子 訳
- この世でいちばん大事な「カネ」の話 / 西原理恵子 著
- 14歳からの社会学 / 宮台真司 著
- レッドマスカラの秋 / 永井すみ 著
- おばけのゆびきり / 那須正幹 作、はたこうしろう 絵



○一般向け

- オバマ演説集 / CNN English Express 編集部 編
- 老いる準備 / 上野千鶴子 著
- よくわかる裁判員Q&A / 裁判員制度研究会 編
- 子どもも仕事もあきらめない / ワーキングママの時間管理術 / ワクママ 著
- 夕映え天使 / 浅田次郎 著
- バリデギ / 黄 哲暎(ファン・ソギョン) 著
- ハブテトルハブテラン / 中島京子 著
- 幽霊コレクター / ユーディット・ヘルマン 著、松永美穂 訳
- サレンダー / ソーニャ・ハートネット 著、金原瑞人、田中亜希子 訳
- 昔日 / ロバート・B・パーカー 著、加賀山卓朗 訳
- 壺霊 上・下 / 内田康夫 著
- 呪眼連鎖 / 桂 修司 著
- 金魚生活 / 楊 逸 著
- 彼岸花 / 宇江佐真理 著

ほか



ほか

利用案内

- 開館日 / 火曜日～日曜日
午前9時30分～午後6時
 - 休館日 / 毎週月曜日(月曜日が祝日のときはその翌日も)
祝日・月末図書整理日・年末年始・蔵書点検日
- 伊方町立図書館(伊方町生涯学習センター2階)
伊方町湊浦1992番地
TEL(0894)38-0607 FAX(0894)38-0617
瀬戸町民センター・三崎公民館にて図書の返却のみ可能。

3月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

●…休館日

お・知・ら・せ

- 図書利用カードをお持ちの方で、進学・就職等により4月以降に転居予定のある方は、変更登録をさせていただきます。
- 来年度、保育所・小学校に入られる方で、利用カードを作っていない方は、作ったその日から使えて、予約や視聴もできる図書利用カードを作ってください。カードは0歳の赤ちゃんからでも作れます。

ピッツスおはなし会のご案内

3月のおはなし会は14日(土)・28日(土)の午後2時から30分程度

■対象：未就学児童および親子
小学校低学年児童

絵本の読み聞かせや紙芝居などをおはなしコーナーで行っています。

みんな、来てね！



見遊館より

歌う人形を作しましょう!

3月21日(土) 午後2時から、歌う人形を作しましょう!

参加される方は当日時間までに受付にお越しください。

参加費：無料。先着10~15名まで

【お問い合わせ】

伊方町生涯学習センター内 見遊館 38-1020

映画上映会のご案内

3月14日(土) 見遊館にて映画上映会を行います。室内が狭く、人数に限りがありますので早めにお越しください。

場 所 見遊館内 集会室

作 品 名 ピーターパンの冒険

上映時間 1回目 10:00~11:10

2回目 15:00~16:10

【お問い合わせ】

伊方町生涯学習センター内 見遊館 38-1020

伊方スポーツセンター遊み

しっかり泳ぎたい方も!
ゆっくりのんびりしたい方も!
きれいなプールに来てみませんか?

きれいな水の大・小プール

ゆっくり使える個別シャワー



※使用料 (1回券)

*一般成人、高校生以上：200円/1時間 ○幼児無料

*65歳以上、中学生以下：100円/1時間

◆定期券

○1ヶ月

*一般成人、高校生以上：2400円/時間フリー

*65歳以上：1200円/時間フリー

○3ヶ月

*一般成人、高校生以上：6600円/時間フリー

*65歳以上：3300円/時間フリー

◆回数券

*一般成人、高校生以上：2000円/11枚綴り/1時間

*65歳以上：1000円・11枚綴り/1時間

● 詳しいお問い合わせは、下記にご連絡ください。

伊方スポーツセンター ☎ 38-1100、☎ 38-0776

「いかた学童クラブ」の参加児童募集のお知らせ

町教育委員会では、放課後帰宅しても保護者がいない児童を対象に「いかた学童クラブ」を開設し4月1日から活動を行う予定です。下記の要領で参加児童を募集しますので、ぜひご参加ください。

【平成21年度 いかた学童クラブ募集要領】

(1) 目 的

放課後、帰宅しても保護者が家庭にいない児童を対象に、平日午後1時(1時以降下校の時間による)から午後6時まで、土曜日・夏冬春休み午前9時30分から午後6時まで、学童クラブを開設し、仲間づくりを通して、児童の健全育成を図る。

(2) 実施期間

平成21年4月1日(水)~平成22年3月31日(水)まで

ただし、日曜日、休館日(月曜日、祝日、年末年始等)を除く

(3) 実施場所

伊方町生涯学習センター 3階見遊館内 放課後児童クラブ室

(4) 対 象 者

町内の小学校に在籍する低中学年(3年生まで)で、放課後帰宅しても保護者が家庭にいない児童

(5) 定 員

20名まで(希望者が多数の場合は別途選考)

(6) 申込場所

伊方町生涯学習センター(TEL38-0607)、3階見遊館または、伊方町中央公民館(TEL38-1020)

(7) 申込期限

平成21年3月24日(火)

(8) 負 担 金

1ヶ月 2,000円(おやつ代など)

(9) 留意事項

- ①児童の送迎は、各家庭で責任を持って行うこと。
- ②申込者はスポーツ安全保険(自己負担：600円)に加入すること
- ③万一、事故等が発生しても町は一切責任を負いません

スケッチ



今年も展示室に可愛い雛人形が飾られました。

◆今月のきょうどかん◆

TEL・FAX 39-0241
 (不在の場合)
 38-2661 生涯学習課
 開館時間 9:30~16:30
 休館 月ほか

2009年 3月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

■—おやすみ □—夜スライド上映
 休館日は都合により、変更する場合があります。

企画展「佐田岬みつけ隊」関連行事

佐田岬半島、野の花巡り

(全3回シリーズ) ※第1回は2月25日でした。



第2回 草原の花巡り

3月25日(水) 19:00~21:00 入場無料

毎月恒例自然スライド上映会特別版! 暖かい春を彩る花々を分かりやすくご紹介。これであなたも花博士♪

開館10周年記念企画展「佐田岬みつけ隊」

— 隊員による活動報告展 —

関連行事

★2月28日 饅絵講演会 ★3月7日 古文書講座

お問い合わせは町見郷土館へ。

好評開催中!

町見郷土館から

節分のかざり

冬(春)を分ける節目「節分」

(オオドシ)には、さまざま

な風習が伝えられています。

写真上は串地区の門口に

つけられた飾り。棘のつ

いたオダラギ(タラノキ…ウコ

ギ科)の枝に、トベラ(トベ

ラ科)の葉(コヒ)イヌガヤ

…イヌガヤ科)の葉をつけま

す。これを左右一対に作っ

て、戸口だけでなく、仏壇

や床の間(神棚)に飾ります。

節分の夜暗くなると、床の

間にお神酒を供え、榎に大

豆を入れ、家族全員で拜ん

だ後、縁側の戸を開けて外

に向かって大豆を投げなが

ら「鬼は外」と三回、さらに
家の中に向けて豆を投げな
がら「福は内」と三回唱える
のだそうです。

川之浜ではトベラの枝の
束で大豆を炒って、その大豆
を歳の数だけ食べ、余った

時はハツガミナリサマ(初雷
様…初めて雷が鳴った時)に
食べるとよいというお話が
聞きました。また戸口に掛

ける時は、「鬼の杖」とも呼
ぶオダラギ(タラノキ)にト
ベラ(さらに焼

いた鯛の頭も
付けました。

伊方地域な
どではトベラ
は飾る前に火
で炙るので、



串：2009年撮影



川之浜：2009年撮影

佐田岬民俗ノート

46

その昔からバリバリシバと
も呼び、やはり戸口・仏壇・
神棚・魚の神様などに供えま
す。尖った痛そうなもの、臭
いの強いものが、悪いものを
避けるおまじないに好まれま
した。

伊方越ではヤクオトシと
いって、この日の夕方、厄
年の人が歳の数分の炒った
大豆と一円玉と縫い針を紙
に包んで四ツ辻で後ろ向き
に投げ、後ろを振り返らず
に帰るそうです。振り返る
と首切れ馬が出るとも伝え
られています。

さまざまなききたりは、四
季の節目を大切にしてい月日
を重ねた先祖の文化ですね。

平成20年度 人権作文から

今、自分たちができることを

三崎中学校3年 小田 未那美

私は今まで何度か同和問題について、学んできました。学校の授業だけではなく、実際に部落差別を受けてきた方の講演会にも行ったことがあります。私はこのことがきっかけで、差別について考えるようになりました。

初めて授業で同和問題について学んだときは、中学一年生のときでした。その時は、自分が体験したことのない事実に驚くことしかできなかった気がします。特に、生まれた地域によって差別されるということは、理解できませんでした。

そして、次に深く部落差別について考え始めたのは、実際に差別を受けてきた方の講演会に行き話を聞いた時です。その中には、それまで授業で学んだことよりひどい差別がありました。就きたい職業にも就けず、結婚の自由を奪われたり、何より同和地区出身であってもそのことを他の人が理解してくれない辛さがあるということを知りました。この講演で、私は改めて差別がなくなっ

てほしいという気持ちになりました。そのためはどのようにいけばいいの
かを考えさせられました。講演会からしばらくは同和問題について学ぶことはなかったけど、最近社会の授業で部落差別について学びました。そして、この授業が今まで差別について学んできて、特に印象に残るものになりました。配られてくる資料の中で、「愛媛」という文字が一番に目に入ってきました。今までの同和教育はすべて身近に感じてなく自分からはすべて遠いものだと思っていました。でも、今回「愛媛」という文字を見て、初めて身近にも差別があることを知りました。配られた資料は人権の研究大会のもので、宇和島の人の話が書かれています。読んでいくうちにその人と周りで起きた差別がどんどんひどくなっていったということ

がわかり、最後には人が殺されるという思まわしい差別事件までおこっていったということでした。こんなひどい差別が身近にあることを考えると私は信じられなく、またなせ起こったのだろうという複雑な気持ちになりました。そして、自分に置きかえてみました。自分は同じような差別を受けたことがないので、自分のこととして考えるのは難しいと思っていたけど、「自分がしてきたことを理解してもらえない」という辛さは感じる

ことができませんでした。でも、一つだけ自分とは違う考えのところがありません。それは「自分のふるさとや部落差別を受けている」ということを隠さな

いできているという事です。もし自分がこういいう立場なら、厳しい差別の現実の中を生き抜いてくのが嫌で逃げてしまってもいいかもしれません。でも、その資料の中に出てくる人はそんな自分の考えとは違い、差別やふるさとを隠さず生きていくことをする人でした。でもその人も高校卒業後は、知らない人たちの中で自分の本当のことを言えなかった時がありました。でも、差別を受けても必死に生きてきた母の姿や手紙を見たとき、改めてちっぽけな自分に気づいたそうです。与えられた生命をこれからつないでいかなければならない、そして母から生まれてきたことや自分のふるさとを誇りにしなければいけないと感じたそうです。そのことをはじめは、なかなか理解できませんでした。差別やふるさとを隠して生きていくことで、差別はされずに生きていけるという選択肢もあります。そんな中、自由を奪われても生活していた人の生き方とでの決意は、

す「いことなんだろうと後で感じる」ことができました。この発表者は、しっかりと強い勇気と決意をもち他人の前で自分を出すことができます。私は、まだまだそんなに強くありません。でも、これから自分が生まれてきたこととしてそのふるさとをしっかりと伝える自分になりたいと思っています。

今まで多くの同和教育を学んできて、一番強く思ったことがあります。それは部落差別を正しく理解しようとする気持ちをもちたいことです。みんなが差別について正しく学んだり、差別を受けている人の考えをしっかりと受け止めていけば、差別は減っていくと思います。差別を受けている人の、考えや姿を否定してはいけません。

平成20年度 人権メッセージから

共に生きる

水ヶ浦小学校6年 明神 妃菜

最近、北京の地でもう一つのオリンピックが開かれています。ことを知りました。そう、パラリンピックのことです。障害のある人達が、いろいろな種目で自分の限界に挑戦しています。私は、そんな姿から大きな勇気をもりました。今までは苦し

いことから逃げたが、弱いな弱い自分でしたが、

弱いな弱い自分でしたが、どんな困難にも負けない強い気持ちをもちたいです。そして、こんな大切なことを気づかせてくれた人達と共存できる社会が早く実現してほしいです。

報 文 芸

伊方俳句会

犬小屋に一と声かける夜寒かな
門田千枝

九十九坂何語り合ふ梅の花
石井義夫

休漁日舫う漁船に春鳴
上田サチエ

東風荒れて漁船の舳先浮き沈み
渡辺日出子

犬ふぐり殖えゆく野辺の息吹きかな
井上良枝

健脚で競うマラソン春の風
上田幸香

小春日や犬抱かれて犬舩
山崎美喜

沖に出る舟も影無しお元日
上田益男

病床の姑の背擦る去年今年
亀井成美

教会の紅梅美し老給ふ
池田君子

蠟梅の一枝手折りて佛前に
明神つた子

師の俳画想いめぐらす年賀状
長野しづこ

降る雪に親子遍路の肩寄せて
辻 満晴

春立つや内診の手のあたたかし
松坂正子

今宵又窓を覆ひし柿のれん
宇都宮睦子

石垣の程よき高さ野菊咲く
梶谷千代子

元旦祭凜と身にしむ初太鼓
篠川晴子

元日や無病息災官詣り
宇都宮法子

過疎となり恋する猫の声もせ
篠川勝子

春光をあつめ岬の大風車
二宮寿賀子

老ホーム千代紙折つて春を待
木戸悦子

瀬戸句会

年重ねても春は来るもの学ばねば
福岡 博

水道をしぼらく流し若水に
浅井ミドリ

夜も更けて寒波の磯で鹿尾菜刈り
佐々木サチ子

丘に佇つはるかな海も春霞
本田光男

宇和海に花散るごとく春の雪
小関秀次

三月や花鳥風月いとおしく
岡本 登

病床の友に折鶴春の虹
阿部慎太郎

子等くれし梅の屏風や温かし
井上幸子

梅匂う散歩の道に小鳥たち
加藤慶子

さきかけて河津さくら華や
吉見福子

ぎぬ
大星幸子

花の下老いも忘れて舞いたり
蜜柑届き里の訛と碧き海
佐々木 煦

静謐な母との別れ夜半の冬

佐々木禮子

平凡な生活もよし春近し

八城征雄

水仙の香り持ち来る見舞客

松下イトエ

春の縁爪切る母は卒寿過ぎ

吉上マツエ

海荒るる人もまばらや虎落笛

佐々木忠雄

紅梅も白梅も咲き一家無事

伴 翔子

半島の先より春が近づきぬ

木田英二

三机句会

立枯の泡立草が丈競ふ
大野律子

豆を撒く白寿の翁声高し
高地瑠美子

温泉に憩ひ挿す白梅に安らげり
長谷美久仁

椿まつり土産に買ひし縁起鈴
安田増子

大干瀉遊ぶ母子の脛白し
道下雅勝

強風に手を振る如く木の葉散る
中村千代香

寒風に乗り切る波や帆まい船
池上松子

水仙の蕾のうちに夫逝きぬ
高月 仁

社宅の灯戻らぬままの寒土用
木原敬明

年玉に一句を添へる初硯
塩崎信子

健康歩どつと咲き出す野水仙
池井為吉

初日ざし待つ病院の鉢植と
池上 馨

あみだ句会

八十路坂共に健やか春迎ふ

西上ミツヨ

鍬初めやしきたり守る農ならむ

阿部ヨシ子

好天に不動も和む初詣

菊池タツエ